

被保険者の年金記録に係る紙台帳等とコンピュータ記録の突合せサンプル調査について

平成 24 年 6 月 5 日
日本年金機構

- 1 被保険者の年金記録に係る紙台帳等とコンピュータ記録の突合せサンプル調査結果（概要） . . . 1～3 頁

- 2 被保険者の年金記録に係る紙台帳等とコンピュータ記録の突合せサンプル調査結果（詳細版） . . . 4～14 頁

- 参考1 突合せ対象となりうる被保険者の人数について . . . 15 頁

- 参考2 厚生年金記録及び国民年金記録のオンライン記録の収録方法の変遷について . . . 16 頁

被保険者の年金記録に係るコンピュータ記録と紙台帳等の突合せサンプル調査の集計結果（概要）

※ 年齢は、平成 22 年 10 月 1 日時点

1. 調査対象者の構成

		調査対象人数		
		厚年のみ	国年のみ	複合
50 歳以上	3,003 人	1,472 人	457 人	1,074 人
40 歳以上 50 歳未満	3,020 人	1,347 人	892 人	781 人
30 歳以上 40 歳未満	2,977 人	63 人	2,847 人	67 人
30 歳未満	3,000 人	1 人	2,999 人	0 人
合計	12,000 人	2,883 人	7,195 人	1,922 人

2. 集計対象人数、不一致人数及び不一致率について

	集計対象者の数 ※1				不一致があった者の数			
		厚年のみ	国年のみ	複合		厚年のみ	国年のみ	複合
50 歳以上	3,003 人	1,472 人	457 人	1,074 人	46 人 (1.5%)	19 人 (1.3%)	2 人 (0.4%)	25 人 (2.3%)
40 歳以上 50 歳未満	3,020 人	1,347 人	892 人	781 人	14 人 (0.5%)	8 人 (0.6%)	1 人 (0.1%)	5 人 (0.6%)
30 歳以上 40 歳未満	2,916 人	34 人	2,847 人	35 人	5 人 (0.2%)	1 人 (2.9%)	4 人 (0.1%)	0 人 (0.0%)
30 歳未満	861 人	—	861 人	—	0 人 (0.0%)	—	0 人 (0.0%)	—
合計	9,800 人	2,853 人	5,057 人	1,890 人	65 人 (0.7%)	28 人 (1.0%)	7 人 (0.1%)	30 人 (1.6%)

65 歳以上(参考)	14,758 人	3,942 人	4,601 人	6,215 人	928 人 (6.3%)	444 人 (11.3%)	33 人 (0.7%)	451 人 (7.3%)
------------	----------	---------	---------	---------	--------------	---------------	-------------	--------------

※1 調査対象者を審査した結果、突合せの対象となる紙台帳が紐付いた者の数

※2 「65 歳以上(参考)」に係る項目については、平成 23 年 5 月に公表した年金記録に係るコンピュータ記録と紙台帳等の突合せサンプル調査の結果による。

3. 年金回復見込額について

※ 突合せに要するコストを業務委託費等から試算すると、1人当たりのコストは約2,200円。被保険者に係る1人当たりコストは約1,100円。

イ. 年金回復見込額が増額となる場合

	年金回復見込額が増額となる者の平均増加額（生涯額（年額））				集計対象者の1人当たり平均増加額（生涯額（年額））			
		厚年のみ	国年のみ	複合		厚年のみ	国年のみ	複合
50歳以上	91.7万円 (4.4万円)	29.9万円 (1.5万円)	2.2万円 (0.1万円)	129.7万円 (6.3万円)	1.0万円 (488円)	0.2万円 (99円)	0.0万円 (5円)	2.5万円 (1,228円)
40歳以上50歳未満	26.8万円 (1.3万円)	5.8万円 (0.3万円)	108.6万円 (5.3万円)	27.3万円 (1.3万円)	0.1万円 (43円)	0.0万円 (8円)	0.1万円 (59円)	0.2万円 (85円)
30歳以上40歳未満	42.5万円 (2.1万円)	190.9万円 (9.3万円)	5.4万円 (0.3万円)	0.0万円 (0.0万円)	0.1万円 (35円)	5.6万円 (2,721円)	0.0万円 (4円)	0.0万円 (0円)
30歳未満	0.0万円 (0.0万円)	— —	0.0万円 (0.0万円)	— —	0.0万円 (0円)	— —	0.0万円 (0円)	— —
合計	73.1万円 (3.5万円)	34.2万円 (1.7万円)	19.2万円 (0.9万円)	110.0万円 (5.3万円)	0.4万円 (173円)	0.2万円 (87円)	0.0万円 (13円)	1.5万円 (733円)

ロ. 年金回復見込額が変動する場合（増減の幅（絶対値）を変動額として計算）

	年金回復見込額が変動する者の平均変動額（生涯額（年額））				集計対象者の1人当たり平均変動額（生涯額（年額））			
		厚年のみ	国年のみ	複合		厚年のみ	国年のみ	複合
50歳以上	82.4万円 (4.0万円)	24.7万円 (1.2万円)	2.2万円 (0.1万円)	123.8万円 (6.0万円)	1.0万円 (492円)	0.2万円 (106円)	0.0万円 (5円)	2.5万円 (1,229円)
40歳以上50歳未満	24.9万円 (1.2万円)	5.9万円 (0.3万円)	108.6万円 (5.3万円)	27.3万円 (1.3万円)	0.1万円 (44円)	0.0万円 (11円)	0.1万円 (59円)	0.2万円 (85円)
30歳以上40歳未満	42.5万円 (2.1万円)	190.9万円 (9.3万円)	5.4万円 (0.3万円)	0.0万円 (0.0万円)	0.1万円 (35円)	5.6万円 (2,721円)	0.0万円 (4円)	0.0万円 (0円)
30歳未満	0.0万円 (0.0万円)	— —	0.0万円 (0.0万円)	— —	0.0万円 (0円)	— —	0.0万円 (0円)	— —
合計	66.7万円 (3.2万円)	28.5万円 (1.4万円)	19.2万円 (0.9万円)	106.0万円 (5.1万円)	0.4万円 (175円)	0.2万円 (92円)	0.0万円 (13円)	1.5万円 (733円)

○ 厚生年金・船員保険の紙台帳の紐付きの有無による比較

		厚年・船保の紙台帳が紐付いた者 (4,743 人)			国年のみ (5,057 人)	全体 (9,800 人)
			厚年のみ (2,853 人)	複合 (1,890 人)		
不一致		58 人 (1.2%)	28 人 (1.0%)	30 人 (1.6%)	7 人 (0.1%)	65 人 (0.7%)
増額	人数	41 人 (0.9%)	15 人 (0.5%)	26 人 (1.4%)	7 人 (0.1%)	48 人 (0.5%)
	集計対象者 1 人当たり平均 額 生涯額 (年額)	0.7 万円 (345 円)	0.2 万円 (87 円)	1.5 万円 (733 円)	0.0 万円 (13 円)	0.4 万円 (173 円)
変動額 (増減の幅 (絶対値) を変動額として計算)	人数	46 人 (1.0%)	19 人 (0.7%)	27 人 (1.4%)	7 人 (0.1%)	53 人 (0.5%)
	集計対象者 1 人当たり平均 額 生涯額 (年額)	0.7 万円 (347 円)	0.2 万円 (92 円)	1.5 万円 (733 円)	0.0 万円 (13 円)	0.4 万円 (175 円)

○ オンライン化 (昭和 63 年 1 月) 以前の記録を有するかどうかの違いによる比較

		オンライン化以前世代 (6,857 人) (平成 25 年 4 月時点で 40 歳以上)	オンライン化後世代 (2,943 人) (平成 25 年 4 月時点で 40 歳未満)	全体 (9,800 人)
		不一致		64 人 (0.9%)
増額	人数	47 人 (0.7%)	1 人 (0.0%)	48 人 (0.5%)
	集計対象者 1 人当たり平均 額 生涯額 (年額)	0.5 万円 (247 円)	0.0 万円 (1 円)	0.4 万円 (173 円)
変動額 (増減の幅 (絶対値) を変動額として計算)	人数	52 人 (0.8%)	1 人 (0.0%)	53 人 (0.5%)
	集計対象者 1 人当たり平均 額 生涯額 (年額)	0.5 万円 (249 円)	0.0 万円 (1 円)	0.4 万円 (175 円)

被保険者の年金記録に係るコンピュータ記録と紙台帳等の突合せサンプル調査の集計結果について

1. サンプル調査の概要

① 目的

突合せ対象者の年齢階層等による突合せ結果を確認するとともに、今後の突合せの作業方法等の検討の資料とするため、被保険者（平成26年度末までに60歳となる者を除く。）に係るサンプル調査を実施した。

② 調査対象者等

- 紐付いた紙台帳等（紙とマイクロフィルムの記録が重複しているもの、払出簿等を含む。）に応じ、対象者の属性を以下の3種に分類し、分析。
 - ・ 厚生年金、船員保険のみの紙台帳等が紐付いた者（以下「厚年のみ」という。）
 - ・ 国民年金のみの紙台帳等が紐付いた者（以下「国年のみ」という。）
 - ・ 厚生年金又は船員保険と、国民年金の紙台帳等がともに紐付いた者（以下「複合」という。）
- 被保険者について、平成22年10月1日時点で、30歳未満、30歳以上40歳未満、40歳以上50歳未満、50歳以上の年齢区分ごとに合計12,000人を無作為で抽出。

（調査対象者の構成）

		調査対象人数		
		厚年のみ	国年のみ	複合
50歳以上	3,003人	1,472人	457人	1,074人
40歳以上50歳未満	3,020人	1,347人	892人	781人
30歳以上40歳未満	2,977人	63人	2,847人	67人
30歳未満	3,000人	1人	2,999人	0人
合計	12,000人	2,883人	7,195人	1,922人

2. 集計結果（人数ベース）

	集計対象者の数 ※1				不一致があった者の数				
		厚年のみ	国年のみ	複合		厚年のみ	国年のみ	複合	
50歳以上	3,003人	1,472人	457人	1,074人	46人 (1.5%)	19人 (1.3%)	2人 (0.4%)	25人 (2.3%)	
40歳以上 50歳未満	3,020人	1,347人	892人	781人	14人 (0.5%)	8人 (0.6%)	1人 (0.1%)	5人 (0.6%)	
30歳以上 40歳未満	2,916人	34人	2,847人	35人	5人 (0.2%)	1人 (2.9%)	4人 (0.1%)	0人 (0.0%)	
30歳未満	861人	—	861人	—	0人 (0.0%)	—	0人 (0.0%)	—	
合計	9,800人	2,853人	5,057人	1,890人	65人 (0.7%)	28人 (1.0%)	7人 (0.1%)	30人 (1.6%)	
65歳以上(参考)※2	14,758人	3,942人	4,601人	6,215人	928人(6.3%)	444人(11.3%)	33人 (0.7%)	451人(7.3%)	

※1 調査対象者を審査した結果、突合せの対象となる紙台帳が紐付いた者の数

※2 「65歳以上(参考)」に係る項目については、平成23年5月に公表した年金記録に係るコンピュータ記録と紙台帳等の突合せサンプル調査の結果による。

3. 不一致の内訳

※ 以下の結果は、今後、ご本人の確認等により変わりうるものである。

(不一致合計)

		不一致があった者								
		厚年のみ			国年のみ			複合		
		増額	減額	増減なし	増額	減額	増減なし	増額	減額	増減なし
50歳以上	46人	10人	3人	6人	2人	0人	0人	21人	1人	3人
40歳以上 50歳未満	14人	4人	1人	3人	1人	0人	0人	5人	0人	0人
30歳以上 40歳未満	5人	1人	0人	0人	4人	0人	0人	0人	0人	0人
30歳未満	0人	—	—	—	0人	0人	0人	—	—	—
合計	65人	15人	4人	9人	7人	0人	0人	26人	1人	3人

(記録訂正：資格取得・喪失年月日、標準報酬(厚年・船保)や納付記録等(国年)の一部が異なっているケース)

	記録訂正があった者									
		厚年のみ			国年のみ			複合		
		増額	減額	増減なし	増額	減額	増減なし	増額	減額	増減なし
50歳以上	39人	9人	3人	6人	2人	0人	0人	15人	1人	3人
40歳以上50歳未満	11人	3人	1人	3人	1人	0人	0人	3人	0人	0人
30歳以上40歳未満	3人	0人	0人	0人	3人	0人	0人	0人	0人	0人
30歳未満	0人	—	—	—	0人	0人	0人	—	—	—
合計	53人	12人	4人	9人	6人	0人	0人	18人	1人	3人

(記録判明：紙台帳等の記録が入力されていないケース)

	記録が判明した者									
		厚年のみ			国年のみ			複合		
		増額	減額	増減なし	増額	減額	増減なし	増額	減額	増減なし
50歳以上	7人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	6人	0人	0人
40歳以上50歳未満	3人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	0人
30歳以上40歳未満	2人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
30歳未満	0人	—	—	—	0人	0人	0人	—	—	—
合計	12人	3人	0人	0人	1人	0人	0人	8人	0人	0人

4. 年金回復見込額

※ 年金回復見込額は、あくまでも機械的な試算であり、今後、ご本人の確認等により変わりうるものである。

① 年金回復見込額（年額）の最高額、最低額、中央値 （増額）

	厚年のみ	国年のみ	複合
最高額	123,700 円	52,600 円	405,900 円
最低額	100 円	500 円	200 円
中央値	2,600 円	1,700 円	6,250 円

（減額）

	厚年のみ	国年のみ	複合
最高額	-900 円	—	-700 円
最低額	-8,400 円	—	-700 円
中央値	-2,000 円	—	-700 円

② 年金回復見込額の平均

※ 年金回復見込額の生涯額は、65歳から受給した場合の回復総額を、平均余命と老齢年金給付額の男女比率を用いて試算。

※ 紙台帳等とコンピュータ記録の突合せに要するコストを業務委託費等から試算すると、1人当たりのコストは約2,200円。被保険者に係る1人当たりコストは約1,100円。

イ. 年金回復見込額が増額となる場合

	年金回復見込額が増額となる者の平均増加額 (生涯額。括弧内は年額)				集計対象者の1人当たり平均増加額 (生涯額。括弧内は年額)			
		厚年のみ	国年のみ	複合		厚年のみ	国年のみ	複合
50歳以上	91.7万円 (4.4万円)	29.9万円 (1.5万円)	2.2万円 (0.1万円)	129.7万円 (6.3万円)	1.0万円 (488円)	0.2万円 (99円)	0.0万円 (5円)	2.5万円 (1,228円)
40歳以上50歳未満	26.8万円 (1.3万円)	5.8万円 (0.3万円)	108.6万円 (5.3万円)	27.3万円 (1.3万円)	0.1万円 (43円)	0.0万円 (8円)	0.1万円 (59円)	0.2万円 (85円)
30歳以上40歳未満	42.5万円 (2.1万円)	190.9万円 (9.3万円)	5.4万円 (0.3万円)	0.0万円 (0.0万円)	0.1万円 (35円)	5.6万円 (2,721円)	0.0万円 (4円)	0.0万円 (0円)
30歳未満	0.0万円 (0.0万円)	— —	0.0万円 (0.0万円)	— —	0.0万円 (0円)	— —	0.0万円 (0円)	— —
合計	73.1万円 (3.5万円)	34.2万円 (1.7万円)	19.2万円 (0.9万円)	110.0万円 (5.3万円)	0.4万円 (173円)	0.2万円 (87円)	0.0万円 (13円)	1.5万円 (733円)
65歳以上(参考)	40.9万円 (2.0万円)	72.2万円 (3.5万円)	17.8万円 (0.9万円)	38.2万円 (1.9万円)	2.8万円 (1,375円)	7.0万円 (3,400円)	0.1万円 (40円)	2.2万円 (1,080円)

ロ. 年金回復見込額が減額となる場合

	年金回復見込額が減額となる者の平均減少額 (生涯額。括弧内は年額)				集計対象者の1人当たり平均減少額 (生涯額。括弧内は年額)			
		厚年のみ	国年のみ	複合		厚年のみ	国年のみ	複合
50歳以上	-5.7万円 (-0.3万円)	-7.2万円 (-0.3万円)	0.0万円 (0.0万円)	-1.4万円 (-0.1万円)	0.0万円 (-4円)	0.0万円 (-7円)	0.0万円 (0円)	0.0万円 (-1円)
40歳以上 50歳未満	-6.0万円 (-0.3万円)	-6.0万円 (-0.3万円)	0.0万円 (0.0万円)	0.0万円 (0.0万円)	0.0万円 (-1円)	0.0万円 (-2円)	0.0万円 (0円)	0.0万円 (0円)
30歳以上 40歳未満	0.0万円 (0.0万円)	0.0万円 (0.0万円)	0.0万円 (0.0万円)	0.0万円 (0.0万円)	0.0万円 (0円)	0.0万円 (0円)	0.0万円 (0円)	0.0万円 (0円)
30歳未満	0.0万円 (0.0万円)	— —	0.0万円 (0.0万円)	— —	0.0万円 (0円)	— —	0.0万円 (0円)	— —
合計	-5.8万円 (-0.3万円)	-6.9万円 (-0.3万円)	0.0万円 (0.0万円)	-1.4万円 (-0.1万円)	0.0万円 (-1円)	0.0万円 (-5円)	0.0万円 (0円)	0.0万円 (0円)

ハ. 年金回復見込額が変動する場合（増減の幅（絶対値）を変動額として計算）

	年金回復見込額が変動する者の平均変動額 （生涯額。括弧内は年額）				集計対象者の1人当たり平均変動額 （生涯額。括弧内は年額）			
		厚年のみ	国年のみ	複合		厚年のみ	国年のみ	複合
50歳以上	82.4万円 (4.0万円)	24.7万円 (1.2万円)	2.2万円 (0.1万円)	123.8万円 (6.0万円)	1.0万円 (492円)	0.2万円 (106円)	0.0万円 (5円)	2.5万円 (1,229円)
40歳以上50歳未満	24.9万円 (1.2万円)	5.9万円 (0.3万円)	108.6万円 (5.3万円)	27.3万円 (1.3万円)	0.1万円 (44円)	0.0万円 (11円)	0.1万円 (59円)	0.2万円 (85円)
30歳以上40歳未満	42.5万円 (2.1万円)	190.9万円 (9.3万円)	5.4万円 (0.3万円)	0.0万円 (0.0万円)	0.1万円 (35円)	5.6万円 (2,721円)	0.0万円 (4円)	0.0万円 (0円)
30歳未満	0.0万円 (0.0万円)	— —	0.0万円 (0.0万円)	— —	0.0万円 (0円)	— —	0.0万円 (0円)	— —
合計	66.7万円 (3.2万円)	28.5万円 (1.4万円)	19.2万円 (0.9万円)	106.0万円 (5.1万円)	0.4万円 (175円)	0.2万円 (92円)	0.0万円 (13円)	1.5万円 (733円)

③ 厚生年金・船員保険の紙台帳の紐付きの有無による比較

イ. 不一致となる場合

	厚年・船保の紙台帳が紐付いた者 (4,743人)			国年のみ (5,057人)	全体 (9,800人)
	厚年のみ (2,853人)	複合 (1,890人)			
不一致	58人 (1.2%)	28人 (1.0%)	30人 (1.6%)	7人 (0.1%)	65人 (0.7%)

ロ. 年金回復見込額が増額となる場合

	厚年・船保の紙台帳が紐付いた者 (4,743人)			国年のみ (5,057人)	全体 (9,800人)
	厚年のみ (2,853人)	複合 (1,890人)			
年金回復見込額が増額となる者	41人 (0.9%)	15人 (0.5%)	26人 (1.4%)	7人 (0.1%)	48人 (0.5%)
集計対象者1人当たりの平均増額 生涯額 (年額)	0.7万円 (345円)	0.2万円 (87円)	1.5万円 (733円)	0.0万円 (13円)	0.4万円 (173円)

ハ. 年金回復見込額が減額となる場合

	厚年・船保の紙台帳が紐付いた者 (4,743人)			国年のみ (5,057人)	全体 (9,800人)
	厚年のみ (2,853人)	複合 (1,890人)			
年金回復見込額が減額となる者	5人 (0.1%)	4人 (0.1%)	1人 (0.1%)	0人 (0.0%)	5人 (0.1%)
集計対象者1人当たりの平均減少額 生涯額 (年額)	0.0万円 (-3円)	0.0万円 (-5円)	0.0万円 (0円)	0.0万円 (0円)	0.0万円 (-1円)

二. 年金回復見込額が変動する場合 (増減の幅 (絶対値) を変動額として計算)

	厚年・船保の紙台帳が紐付いた者 (4,743人)			国年のみ (5,057人)	全体 (9,800人)
	厚年のみ (2,853人)	複合 (1,890人)			
年金回復見込額が変動する者	46人 (1.0%)	19人 (0.7%)	27人 (1.4%)	7人 (0.1%)	53人 (0.5%)
集計対象者1人当たりの平均変動額 生涯額 (年額)	0.7万円 (347円)	0.2万円 (92円)	1.5万円 (733円)	0.0万円 (13円)	0.4万円 (175円)

④ オンライン化（昭和 63 年 1 月）以前の記録を有するかどうか（※）の違いによる比較

※ オンライン化の完了前の世代（平成 25 年 4 月 1 日時点で 40 歳以上である者）（9,800 人中 6,857 人）及びその後の世代（9,800 人中 2,943 人）に区分し集計。

イ. 不一致となる場合

	オンライン化前世代（6,857 人） （平成 25 年 4 月時点で 40 歳以上）	オンライン化後世代（2,943 人） （平成 25 年 4 月時点で 40 歳未満）	合計
不一致	64 人 (0.9%)	1 人 (0.0%)	65 人 (0.7%)

ロ. 年金回復見込額が増額となる場合

	オンライン化前世代（6,857 人） （平成 25 年 4 月時点で 40 歳以上）	オンライン化後世代（2,943 人） （平成 25 年 4 月時点で 40 歳未満）	合計
年金回復見込額が増額となる者	47 人 (0.7%)	1 人 (0.0%)	48 人 (0.5%)
集計対象者 1 人当たりの平均増加額 生涯額（年額）	0.5 万円 (247 円)	0.0 万円 (1 円)	0.4 万円 (173 円)

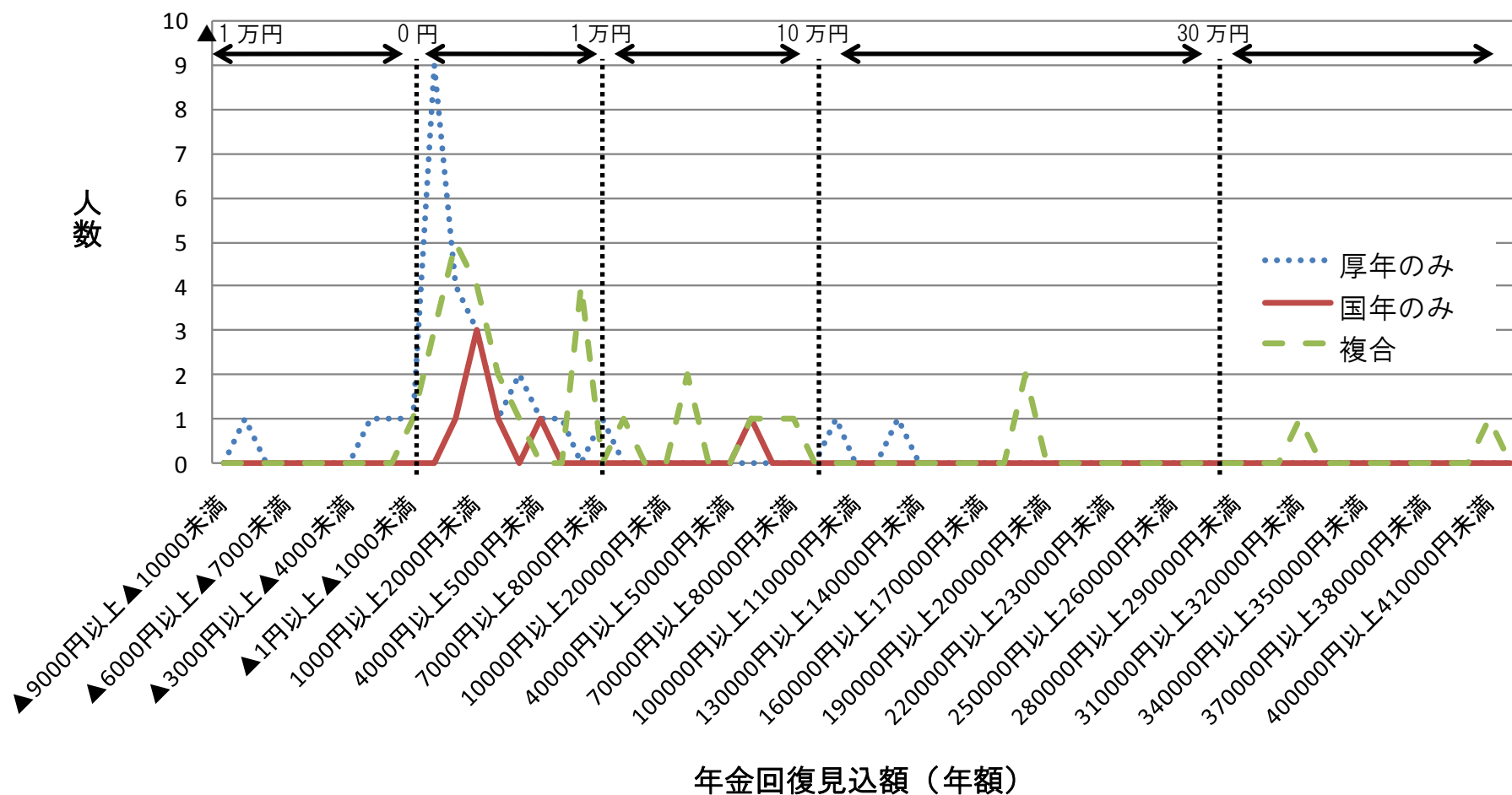
ハ. 年金回復見込額が減額となる場合

	オンライン化前世代（6,857 人） （平成 25 年 4 月時点で 40 歳以上）	オンライン化後世代（2,943 人） （平成 25 年 4 月時点で 40 歳未満）	合計
年金回復見込額が減額となる者	5 人 (0.1%)	0 人 (0.0%)	5 人 (0.1%)
集計対象者 1 人当たりの平均減少額 生涯額（年額）	0.0 万円 (-2 円)	0.0 万円 (0 円)	0.0 万円 (-1 円)

二. 年金回復見込額が変動する場合（増減の幅（絶対値）を変動額として計算）

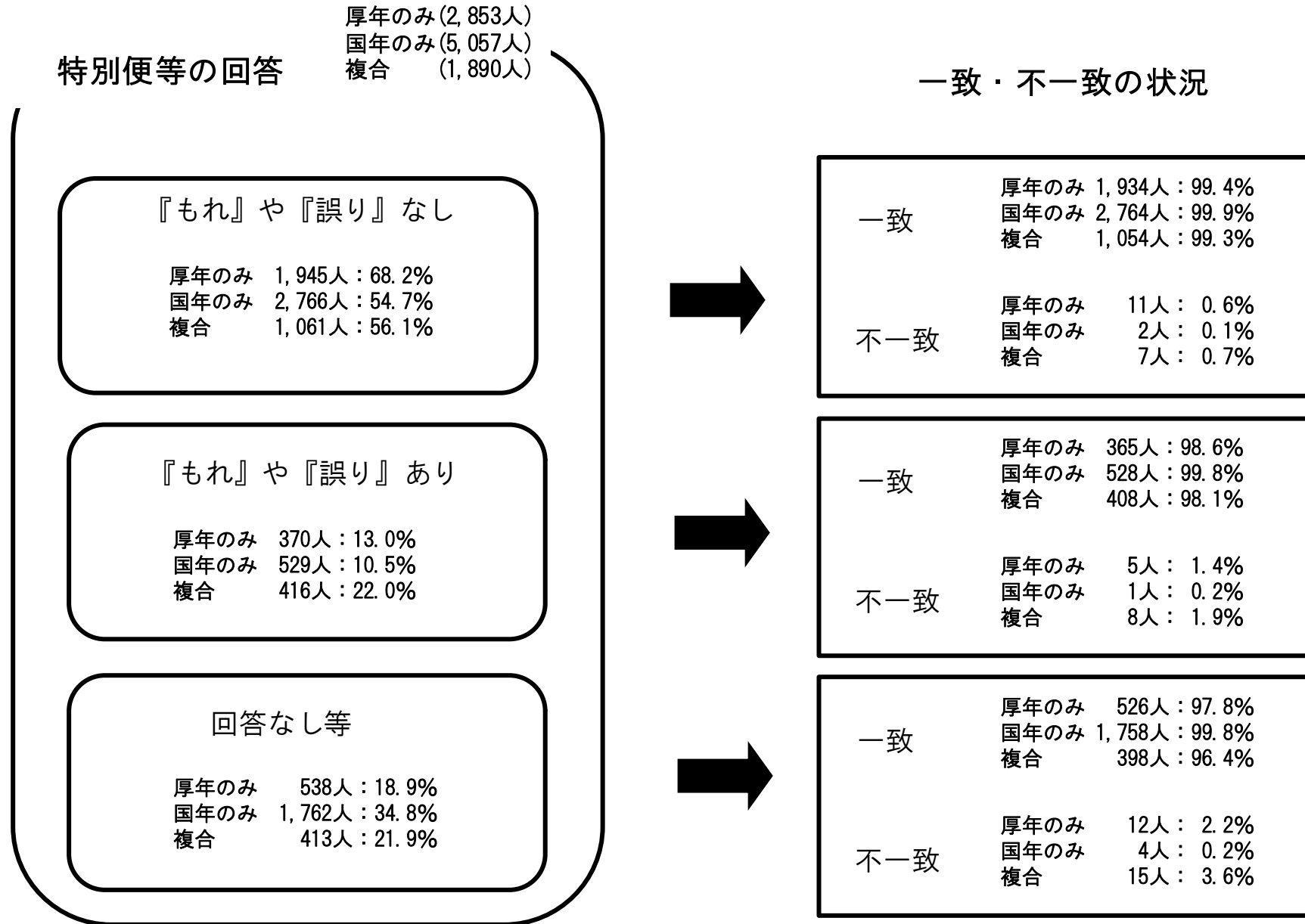
	オンライン化前世代（6,857 人） （平成 25 年 4 月時点で 40 歳以上）	オンライン化後世代（2,943 人） （平成 25 年 4 月時点で 40 歳未満）	合計
年金回復見込額が変動する者	52 人 (0.8%)	1 人 (0.0%)	53 人 (0.5%)
集計対象者 1 人当たりの平均変動額生涯額（年額）	0.5 万円 (249 円)	0.0 万円 (1 円)	0.4 万円 (175 円)

⑤ 年金回復見込額の人数分布について



	減額		増額	
	平均値	中央値	平均値	中央値
厚年のみ	-0.3万円	-2,000円	1.7万円	2,600円
国年のみ	—	—	0.9万円	1,700円
複合	-0.1万円	-700円	5.3万円	6,300円

5. 突合せ結果と特別便等の関係



突合せ対象となりうる被保険者の人数について

(参考1)

	厚年のみ	国年のみ	複合	合計
50歳以上	約 250 万人	約 140 万人	約 330 万人	約 720 万人
40歳以上 50歳未満	約 300 万人	約 450 万人	約 400 万人	約 1,150 万人
30歳以上 40歳未満	約 1 万人	約 1,040 万人	約 10 万人	約 1,050 万人
30歳未満	—	約 110 万人	—	約 110 万人
合計	約 550 万人	約 1,740 万人	約 740 万人	約 3,030 万人

※ 対象者の数については、市町村から新たに提出のあった紙台帳の紐付け等により変わり得る。

※ 被保険者に係る平均紐付き枚数は、約 4.4 枚（受給者等（約 4,850 万人）に係る平均紐付け枚数は約 11.1 枚）

厚生年金記録及び国民年金記録のオンライン記録の収録方法の変遷について

(参考2)

